

# 第159回

## 地震予知連絡会資料



2004 年 9 月 17 日

東北大学大学院理学研究科

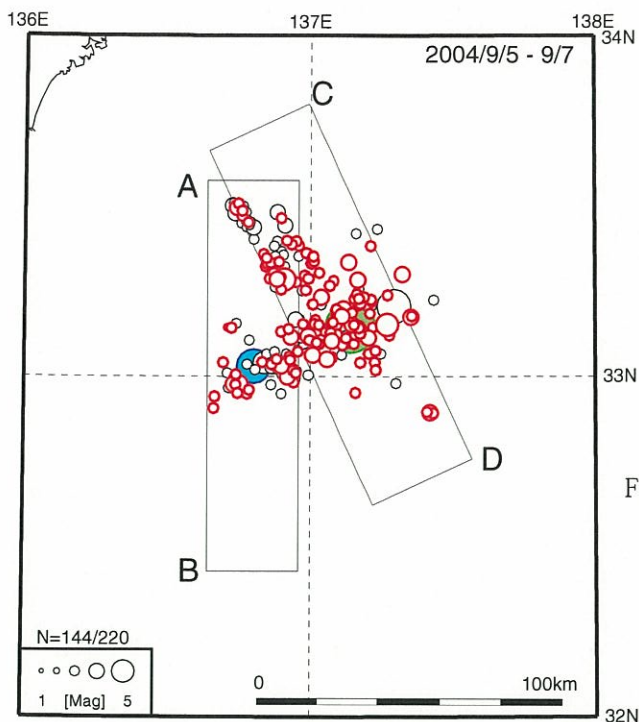


Fig.1 sP波を観測した地震の震央分布（赤丸）．白丸はsP波が見えなかった地震，青丸は前震（M6.9），緑丸は本震（M7.4）を表す．領域A B, C DはFig.2 に示す断面図の位置を表す．（2004年9月5日－9月7日）．

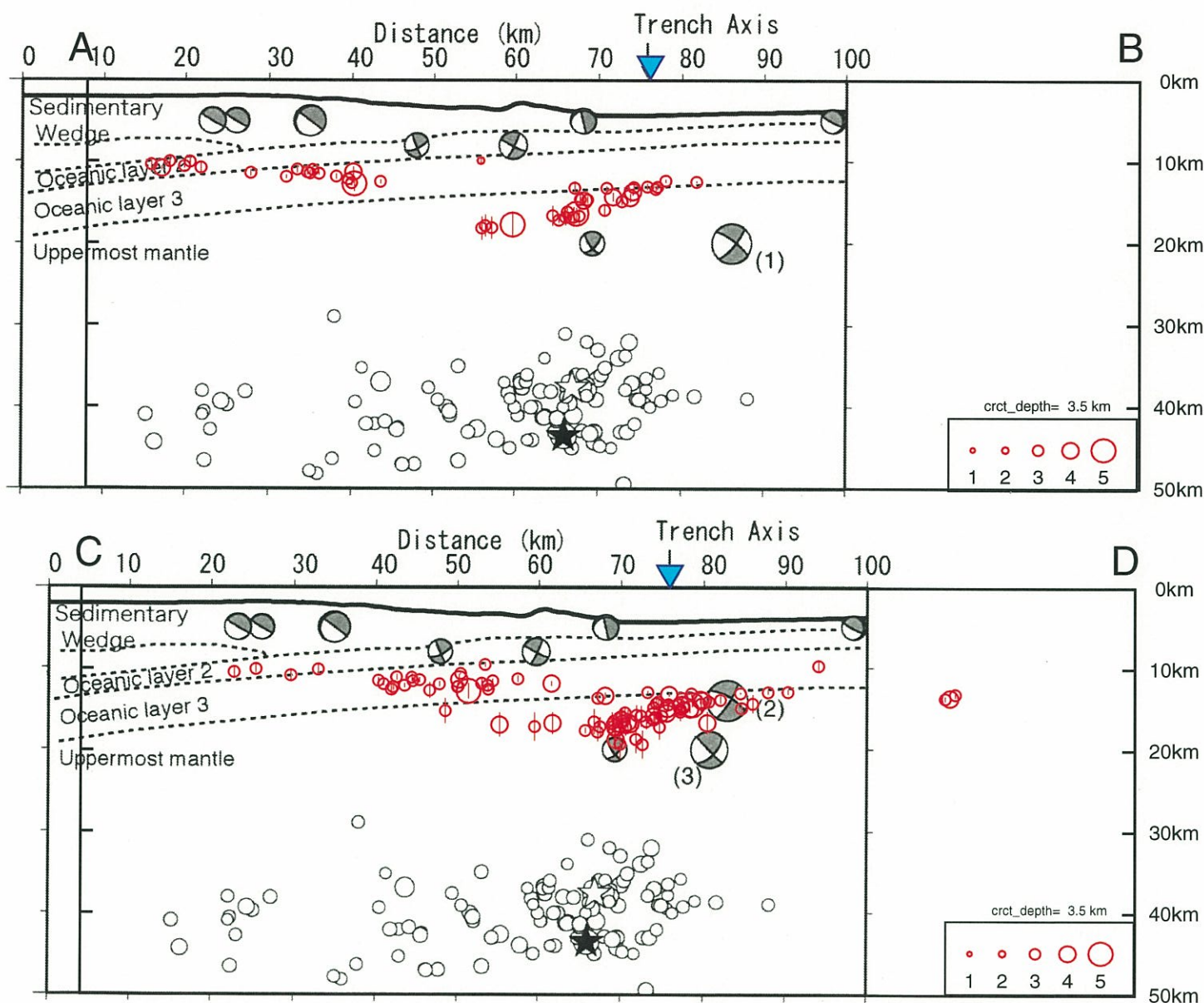


Fig.2 地震の深さ分布（赤丸）．震央は気象庁一元化震源の位置を用いて，（sP-P）時間により震源の深さを推定した．CMT解は防災科研，地下構造はNakanishi et al. (2002) による．白丸は気象庁一元化震源を示す．それぞれの領域内の地震の分布が最も薄く見える方向に断面図を作成した．

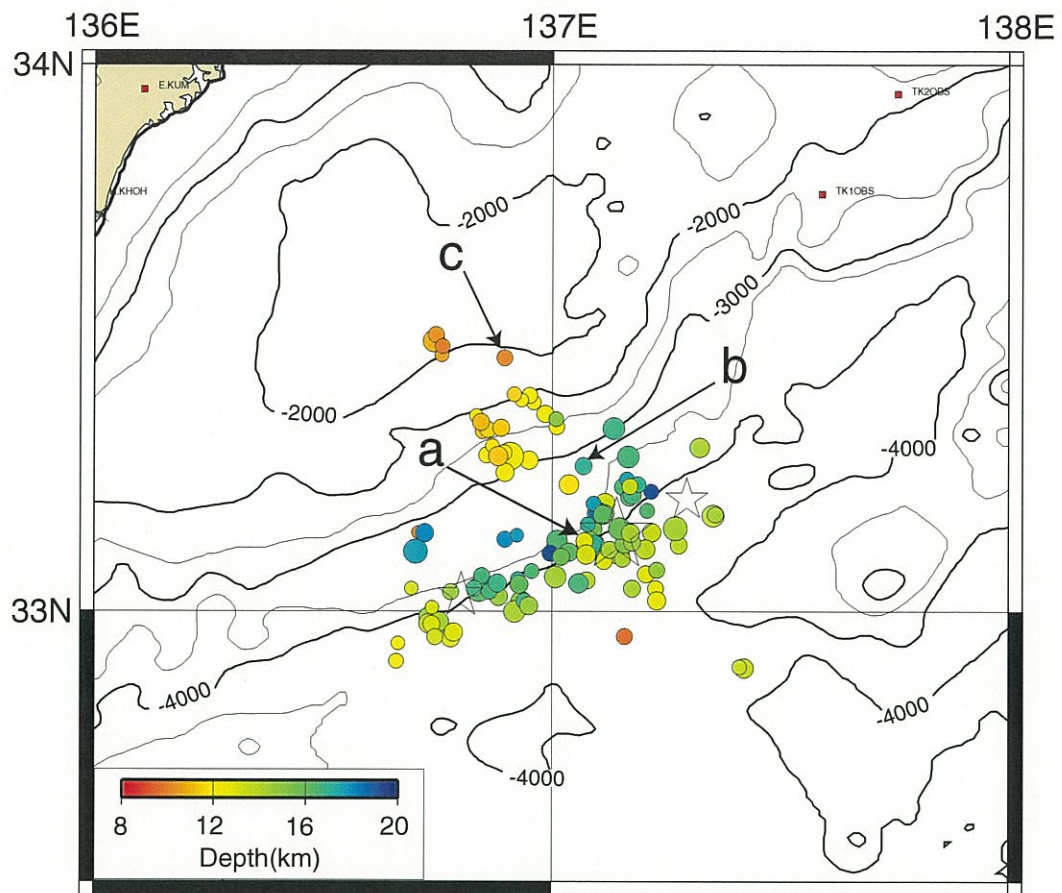


Fig.3 sP波を観測した地震の震央分布．震源の深さをカースケールで示す．星印は前震 (M6.9)，本震 (M7.4)，最大余震 (M6.5) の位置を示す．地震 a, b, c の波形を Fig.4~Fig.6 に示す．(2004年9月5日-9月7日)．

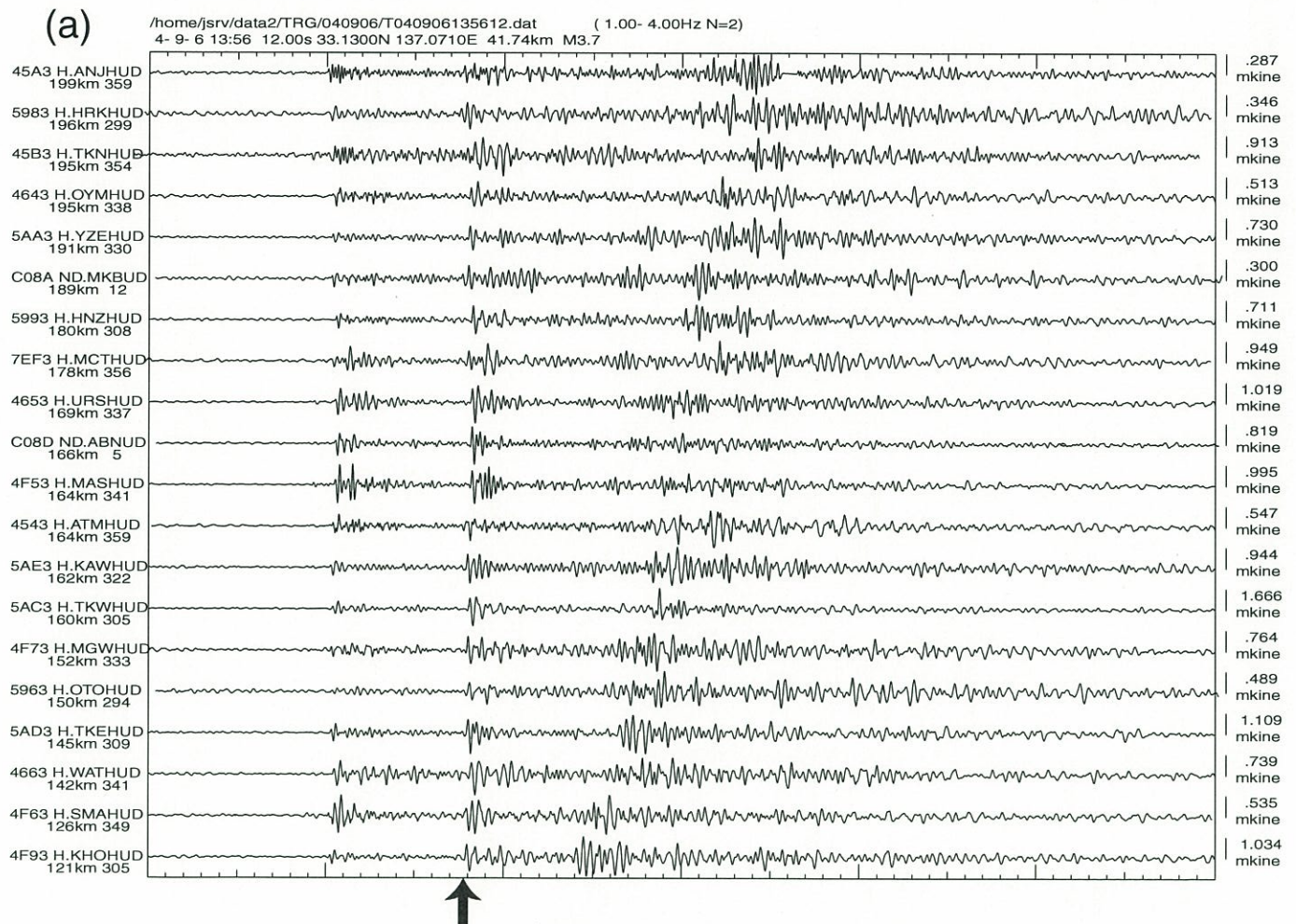


Fig.4 sP波の記録例 (地震 a)．各観測点の上下動成分を，P波着震時をそろえて震央距離の順に示す．

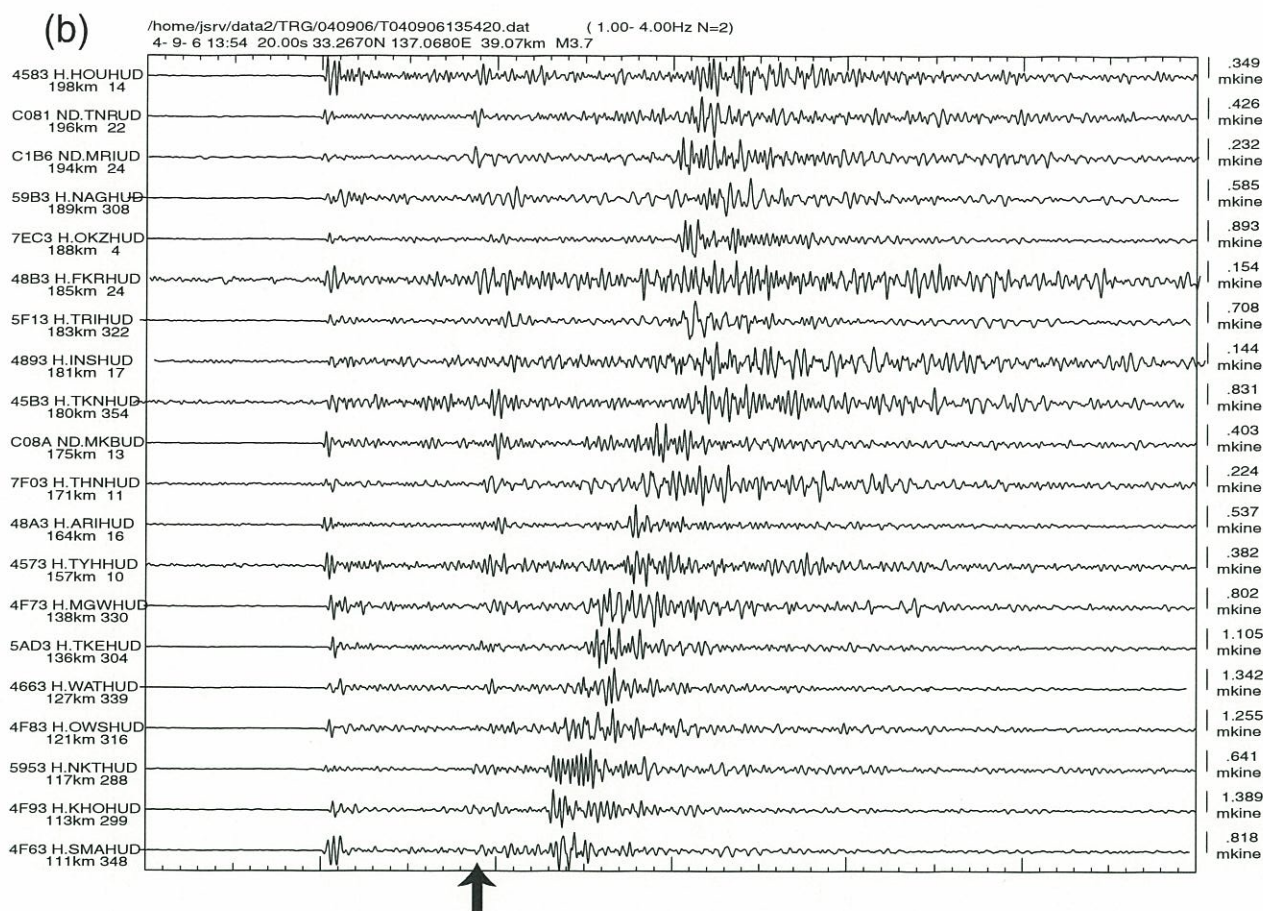


Fig.5 sP波の記録例（地震b）．各観測点の上下動成分を，P波着震時をそろえて震央距離の順に示す．

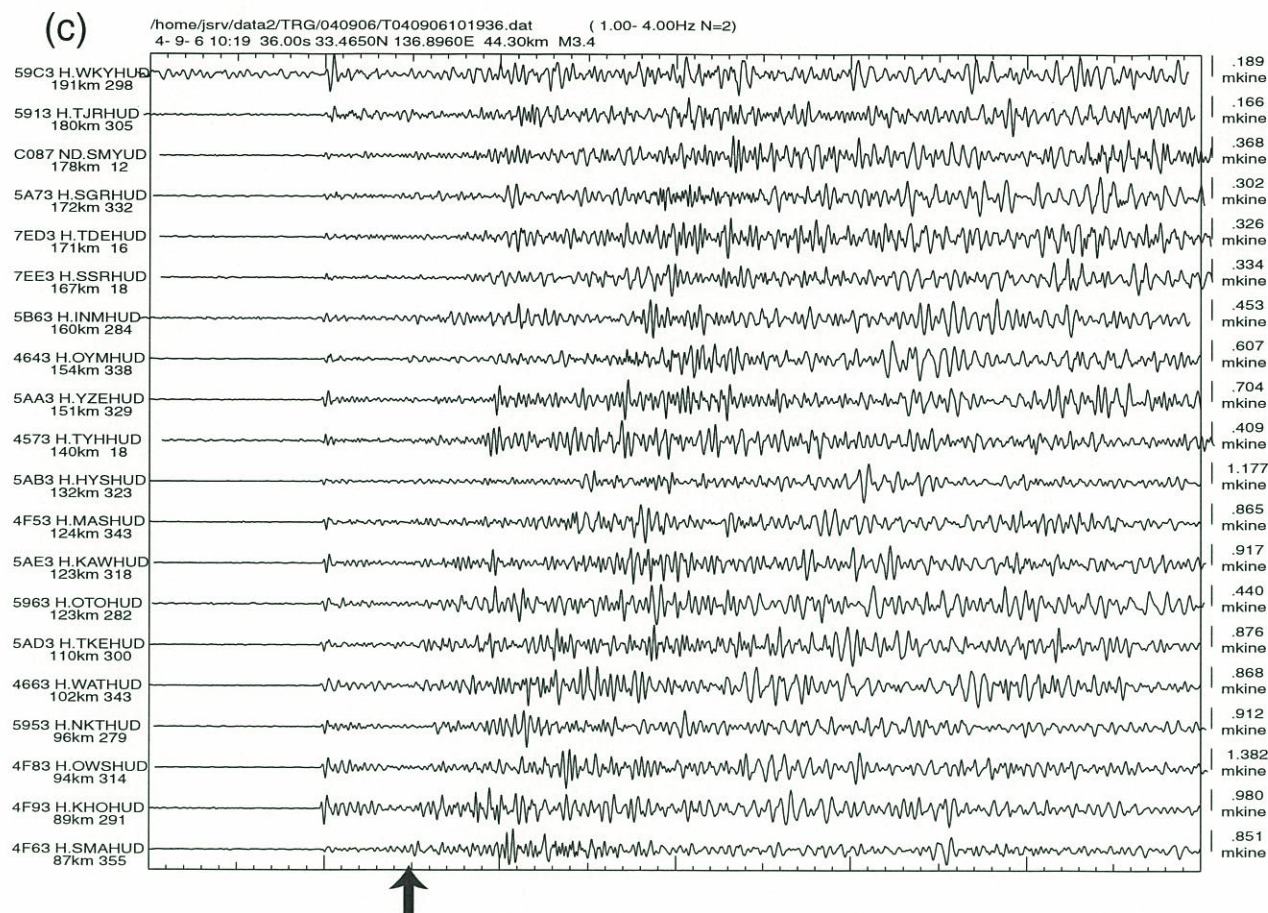


Fig.6 sP波の記録例（地震c）．各観測点の上下動成分を，P波着震時をそろえて震央距離の順に示す．